

1 指定管理施設の概要

施設名	舞鶴市農業公園			
指定管理者	株式会社農業法人ふるる			
設置目的	農業と自然に触れ、親しみ、学ぶ場及び市民との交流の場を提供し、農業の振興及び地域の活性化に資するため。			
選定方法	公募・非公募	指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日	
所管課	産業振興部農林課			

2 利用状況等の推移

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
滞在農園利用組数(組)	16	16	16	13	13
日帰り農園利用区画数(区画)	18	18	17	17	18
コテージ利用者数(人)	998	1,120	1,318	1,844	1,726
利用料金(円)	12,967,990	13,146,427	14,387,561	15,633,138	13,945,778
事業分利用人数(人)	67,341	63,010	60,193	50,992	53,867
事業分収入(円)	99,868,337	91,073,708	83,167,976	67,116,895	69,918,018
指定管理料(円)	0	0	0	0	2,000,000

※事業＝レストラン、加工工房、マーケット、体験（各施設の延べ人数）

3 成果(数値)目標の達成状況

成果(数値)目標の種類	市設定目標	年間目標(A)	実績(B)	達成率(B/A)
交流サロン(農業レストラン)の利用人数	46,000	35,000	26,391	75%
管理センター(ふるるマーケット)の利用人数	35,000	23,000	21,134	92%
コテージの利用人数	1,500	1,500	1,726	115%
利用客数の維持(レストラン+マーケット人数)	81,000	58,000	47,525	82%

4 収支状況

(円)

収入		支出	
利用料金	13,945,778	人件費	36,980,099
指定管理料	2,000,000	維持管理費	6,350,515
事業収入	69,918,018	事業費	48,428,795
その他	2,384,864	その他	499,540
合計	88,248,660	合計	92,258,949
差額			△4,010,289

5 所管課による評価

項目	評価	コメント
(1) 事業計画の達成度		
成果(数値)目標を達成しているか	△	7月豪雨や記録的猛暑など相次ぐ災害・天候不順がある中、自主事業を企画するなど挽回を図り、昨年度を超える実績を出したことは評価に値するが、パブリシティを積極的に利用するなど、さらなる広報の充実に努め、目標達成を図りたい。
施設の将来的な構想(ビジョン)に沿った運営を行ったか	○	特記事項なし。
施設の果たすべき使命(ミッション)を果たしたか	○	地域団体との連携や地元食材の活用等により、地域の活性化に資する取り組みを展開された。
市指定事業、自主事業は計画どおり行われたか	○	お菓子部門等で積極的な加工品開発がされたほか、レストランは地域団体と連携したメニュー開発、マーケット充実のための集荷や営業など、積極的な姿勢が見られた。
利用者数の増加、利用率の上昇などが図られたか	○	小学校への広報や、積極的なイベント企画、ソーシャルネットワークサービスを活用した情報発信など、施設の動きをタイムリーに発信し、施設のさらなる認知拡大を図られたことは評価に値する。
(2) 利用者の満足度		
利用者の満足が得られたか	○	レストランのアンケートからでも満足度が高いことが伺えるほか、フェイスブックの評価も4以上をキープしている。

利用者の意見・要望の把握は適切に行われたか	○	通年でアンケート調査を実施し、積極的にニーズ把握に努めている。
利用者の要望・苦情への対応は十分に行われたか	○	特記事項なし。
(3) 管理運営の効率性		
経費の節減が図られたか	○	時間外勤務の管理など働き方改革を実施し、人件費の抑制に取り組まれたこと、パブリシティの活用により広告宣伝費の減少を図られた。
委託費、物品の購入費等の経費が最小となるような取組が行われたか	○	特記事項なし。
収入増加のための取組が行われたか	△	イベント企画、体験事業の創出など昨年比で相当な改善は図られたが、日持ちのする自社加工品の開発などを進め、さらなる経営改善を図りたい。
(4) 適正な管理運営		
適切な人員配置が行われたか	○	特記事項なし。
職員の能力向上のための取組が行われたか	○	特記事項なし。
施設の平等な利用が行われたか	○	特記事項なし。
個人情報の管理が適切に行われたか	○	特記事項なし。
情報の公開が適切に行われたか	○	ホームページ、ソーシャルネットワーキングサービスを駆使し、こまめな情報発信ができていた。
収支状況や会計処理が適切か	△	会計処理は適切。イベント企画や体験事業の実施により一定収支改善は図られたが、黒字化を目指し加工品開発等のレストラン以外での収入増を図りさらなる経営改善を図りたい。
施設・設備の法定点検及び保守が適切に行われたか	○	特記事項なし
備品等の管理が適切に行われたか	○	特記事項なし
危機管理、安全対策などは十分か	○	特記事項なし
法令等を遵守し、適正な管理が行われたか	○	特記事項なし
(5) その他コメント		
サービス向上	接遇や季節に応じた設えなど、積極的なサービス向上に取り組まれている。また、周年祭や収穫祭などの恒例行事による農村の食・文化に加え、万願寺まつりや焼き芋まつり、牡蠣まつりなど季節の食材に応じたイベントの開催や、福祉施設の要望に応じた受入体制づくりなど、公共的なサービスの継続及び向上も大いに評価すべきところである。また、小学校に食に関する手書きのチラシを配布するなど、地域の食育に寄与するとともに、地域団体と連携した健康メニューの開発に取り組むなど地域に根差した施設としての役割を意識した取組が伺える。	
経費削減	働き方改革により人件費の管理に努められたほか、パブリシティの積極的な活用により広告宣伝費を削減し、最小で最大限の広告効果を得たことは評価できる。また、昨年に続く電気代の節減なども継続していることからこうした経費削減を継続実施するとともに、サービスレベルを維持し、施設の更なる集客を図るため、オリジナル商品の開発（加工など）に取り組まれない。	
施設の維持・管理	多くの人が訪れる公共施設であることをしっかり認識され、消防等の設備や体制を万全に維持されたい。	

※ (1)から(4)までにおける評価区分

- ◎(優)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準より優れた内容である。
- (良)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準に沿った内容である。
- △(可)： 協定書、仕様書等の基準を概ね遵守しているが、内容の一部に課題がある。
- ×(不可)： 協定書、仕様書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な内容である。

6 選定委員会による評価

評価点	2.6点	※左記の点数は、各委員が次の5段階評価を行い、その点数を平均したものです。 5：良い、4：やや良い、3：普通、2：やや悪い、1：悪い
総評	収支の赤字幅が改善されてきているので、早く収支バランスをとれるよう望む。 市設定目標に比べ年度目標が低い。 更なるPR活動に力を入れてほしい。 スイーツの評判が高いので、市内での販売にも力を入れてほしい。	

《参考》 過年度の評価点

平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平均
2点	2点	2.16点	1.66点	1.95点